

# 画像処理機器のガゾウ、視線の動き解析するアプリ開発

2022/6/24 19:59 | 日本経済新聞 電子版



ガゾウの視線解析システム

画像処理機器・システム開発のガゾウ（新潟市）は、人の視線をリアルタイムで解析するアプリを開発した。専用のシステムを通じて、人がどの場所をどのくらい長く注視したかがわかる。購買行動の分析などマーケティングや生産現場などでの訓練支援に役立てたい考えだ。

ガゾウは人のまばたきや視線の動きを解析する「視線解析システム」を開発している。眼鏡型の専用装置を装着してもらうなどして視線を追いかけ、解析する。アプリは、眼鏡型の装置のオプション機能として販売する予定。従来はシステムで取得した動画を見直して解析する必要があった。



どのような部分を注視したかを表すヒートマップを作成する

今回のアプリにはARマーカーを利用した。マーカーを解析したい場所に置き、システムを通じて空間を平面として認識できるようにする。マーカーで規定された範囲内と視線の相対的な距離を算出し、距離や見た時間に基づいて、どのような部分を注視したかを表すヒートマップを作成する。価格は50万～80万円で7月中旬の発売を予定する。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。